

## 私たちの願いであった 老健施設における透析医療を実現

常々、県行政・県議会へ要望事項としてお願いしている介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・介護療養型医療施設に於ける透析治療の実現は、私たち透析患者の現状や一生続く治療を考える時、避けて通れない重要な問題であります。

県腎友会事務局長 馬上 和久



横山院長

逗子市に平成15年5月開所された「センベル逗子クリニック」に、平成19年2月に透析室が併開設されて久しい。この度、施設見学の機会を与えられ、施設の持つ意義や横山院長先生の目指す将来像等知ることが出来た。施設紹介を兼ね横山院長先生から伺った内容を中心に報告することとします。

### 「センベル逗子クリニック 開設のいきさつを お聞かせ下さい」

20年以上、大学で癌の治療に専念していましたが、両親が同時に介護老人になってしまった。当時、介護保険制度開始前のことで、大変苦勞しました。「治療する立場」から「介護」「医療」に立ってみて、「施設介護サビの貧弱さに、「施設介護サビ

ス」「在宅介護サービス」「医療サービス」の全てが受けられる複合施設の構想を思い立ち、努力の末開設に至りました。最近では、透析患者に対する「介護」サービスの重要性に気付き、医療と介護を同時に提供することが出来る「介護透析」という概念を提唱して注力しています。

### 「新しい概念である 「介護透析」の内容について お聞かせ下さい」

「介護透析」とは、たとえば、ある透析患者が高齢化し、日常生活に支障を来したり、認知症が悪化した場合、「施設介護」が必要になるわけですが、透析患者の老健施設入所は非常に厳しい状況です。介護度の高い患者でも家族が面倒をみる環境が整っていないかったり、独居で通院透析が困難な場合もあります。このようなケアが必要な方が老健施設に入所しようとしても、入所申込が受けられず、いわゆる介護難民・医療難民になってしまいます。そこで、介護透析を行うことで、こうした

方々の受け皿となろうと考えました。「介護透析」は医療・介護の両面からサポートできる体制が整って初めて実現できます。当施設の場合、同じ建物内に透析室と老健及びクリニックがあり、安心して入所していただける体制が整っていると思います。

### 「「介護透析」の現状や 社会反応について お話し下さい」

平成20年には第19回全国介護老人保健施設大会に於いて介護透析について発表させて頂きました。透析が出来た老健施設ということでも、県外から問い合わせを受けることも多くなりました。居宅ケアマネージャー、病院、患者のご家族などからの問い合わせでは「〇〇から紹介されたので」とお話しされる方が多いようで、徐々に介護透析に関する認識が広まっているように思います。

透析患者にとっては、老健施設ですので病院の入院生活に比べ、リハビリやレクリエーション、他の利用者の方との交流な

ど、入院しては出来なかつた、より家庭に近い生活をお送り頂いています。ご家族にとっても、一つの施設で入所しながら透析できる環境ということで、安心して患者を預けて頂いています。老健施設入所者の透析患者割合も年々増えており、受け皿としてお役に立てていると思います。同時に、「介護透析」が社会にとって必要であると実感しています。

## 「介護透析」の難しさは

どんな点でしょうか

留意点としては、透析患者のお世話をする際は、水分や食事の管理のことが挙げられます。当施設では、三食、食事して頂くことを基準とし、塩分・たんぱく質などの栄養も安全な範囲内で積極的に摂って頂くようにしています。食事をしっかりと摂って頂くことでアルブミン値が上がり、体が元気になったと喜ばれています。次に、一番大きな問題点としては、経営的な側面の話でもあるのですが、透析の診療報酬のことで、具体的に

には、外来透析の方と老健施設に入所しながら同一建物内で透析を受ける方とは、後者の方の診療報酬が非常に低くなっております。これは、制度上やむを得ないことで、患者さんにとって便利なことなのですが、経営的には非常に負担になってきます。このため、多くの老健が透析患者さんの受け入れを進んで行っていないという側面があると思われまます。今後は、診療報酬の改善に向けて大きな見直しを望みます。

（事務局長 馬上）

院長先生のお話を伺っていて、老健施設に入所しながら同一建物内で透析を受ける方の診療報酬がとても低く抑えられていることについては、全腎協理事として、厚労省はじめ透析医学会や透析医会の先生方に、先ず実態を正しく伝える役割を果たさなければと痛感しています。併せて、県行政や県議会の議員の方々に知って頂くことも大切ですね。

## 「介護透析」の今後についてどう考えますか

今後、益々増え続けるであろう高齢の透析患者にとって、必要な施設はまだ足りません。将来的には、透析患者を中心とした高齢者住宅の建設も検討しています。私たちが検討中の高齢者住宅は、特に、透析患者の経済的負担を最小限に抑えた低料金の賃料設定をしており、同一建物内に透析室を完備し、居室のある建物の外に出ることなく透析診療が受けられ、かつ介護サービスも受けられる高齢者

住宅を目指しています。こちらを利用して頂くことにより、一人でも多くの患者の方々に安心・満足して頂くことが目標です。

【まとめ】

横山院長が注力されている「介護透析」を広く神奈川県より全国へ発信しなければならぬと強く思いました。本日は有難うございました。

### 「医療法人社団 清光会の概要」

住所 神奈川県逗子市久木 4-25-8  
TEL 046-873-7141 / FAX 046-873-9991  
URL <http://www.seikoukai-zushi.or.jp>  
施設内容

- ①介護老人保健施設セアラ逗子：入所 100名  
認知症専門：45名、一般 55名（内ショートスティ 10名）
- ②通所リハビリテーション：定員 58名
- ③居宅介護支援事業所
- ④センベル逗子クリニック：外来診療、入院病棟 19床、  
訪問診療・介護・人工透析室 30床
- ⑤グループホームはなもも：定員 9名
- ⑥逗子市地域包括支援センター

